

5月20日：金融株、大型株に買いが入り、ベトナム株は上昇

主に金融株、大型株に買いが入り、マーケットは堅調だった。

ホーチミン証券のVN指数は1.25%高の1,278.22ポイントで取引を終えた。

同指数は前日0.78%（9.81ポイント）高の1,262.49ポイントで引けていた。

騰落別では235銘柄が下落し、183銘柄が上昇、46銘柄が変わらずだった。

出来高は高水準で、売買高は7億4,520万株を超え、売買代金は22兆7,000億ドン（9億8,480万米ドル）となった。

「VN指数は取引開始後の2時間は前日終値付近を行ったり来たりする展開となったが、次第に上昇し最後は1,260ポイントを越えて引けた」（BIDV証券）

「外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で売り越した。加えて、値上がり銘柄数と値下がり銘柄数は拮抗しており、出来高も前日と比べそれほど変わらなかった」（同証券会社）

「VN指数は今後1,270～1,280ポイントの上値抵抗線を再び試すと予想される」（同証券会社）

外国人投資家はホーチミン市場でビナミルク（VNM）973億ドン、VPバンク（VPB）875億ドン、ノバランド不動産投資グループ（NVL）600億ドンといった計2,409億ドンを売り越した。またハノイ市場でも135億9,000万ドンを売り越した。VN30指数は1.66%高の1,424.92ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、23銘柄が上昇、6銘柄が下落した。

FPTグループ（FPT）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、マサングループ（MSN）、ビンググループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）、フーニュアン・ジュエリー（PNJ）といった一連の大型株は上昇し、VN指数を押し上げた。

ベトコムバンク（VCB）、軍隊商業銀行（MBB）、HDバンク（HDB）、アジアコマース銀行（ACB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ヴィエティンバンク

(CTG)、サコムバンク (STB)、テクコムバンク (TCB) といった金融株も堅調だった。

セクター別では、不動産、証券、情報技術、ヘルスケア、銀行、ゴム製品、プラスチック化学製品、食料飲料、建材、卸売、小売、建設、運輸が上昇。

その一方で、農業、水産加工業、保険、エネルギーが下落した。

またハノイ市場では、HNX 指数が 0.05% 安の 295.10 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.21% 高の 295.25 ポイントだった。

売買高は約 1 億 2,900 万株で、売買代金は 2 兆 6,000 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。